

# 八色西瓜通信 No.4



## ～定植後の整枝管理～

令和6年5月9日  
八色西瓜生産組合指導部  
JAみなみ魚沼園芸畜産課  
南魚沼農業普及指導センター

### 【生育状況等】

- 定植は順調に進んでいます。
- 4月 26~29 日の高温により、密閉栽培の一部で葉ヤケが見られました。  
また、改良整枝栽培の一部では、定植後にトンネル換気を開けすぎて乾燥した風が当たり、しおれが発生しました。
- 4月中旬以降の降水量は少なく、マルチ内が乾きやすい状況です。強日射時は葉ヤケ注意。  
→マルチ内の土壤水分を確認し、定植前から活着まで、十分にかん水しておきましょう。  
→定植当日は根鉢にしっかり給水し、定植後は手かん水しましょう。特に定植後3~4日までは株元の乾燥に注意してください。
- 改良整枝栽培はトンネルの開けすぎに注意！  
→初期は晴天日でも 10cm前後の隙間で十分です。



## 改良整枝栽培の換気幅(生育初期)

- ・トンネル内温度は、つるの位置で測定します。
- ・つるの位置は低いので、**換気幅が 10 cm**前後あれば、つる部分の温度は適温になります。
- ・特に定植後2～3週間は、地上部の生育に根の発達が追いついておらずアンバランスで、吸水能力が低い状態です。換気幅が広いと、風が葉に当たって蒸散量が大きくなりすぎ、しおれやすくなるので注意しましょう。
- ・特に**大苗の場合**は、葉からの蒸散量が多いので、**株元の乾燥**に一層注意してください。

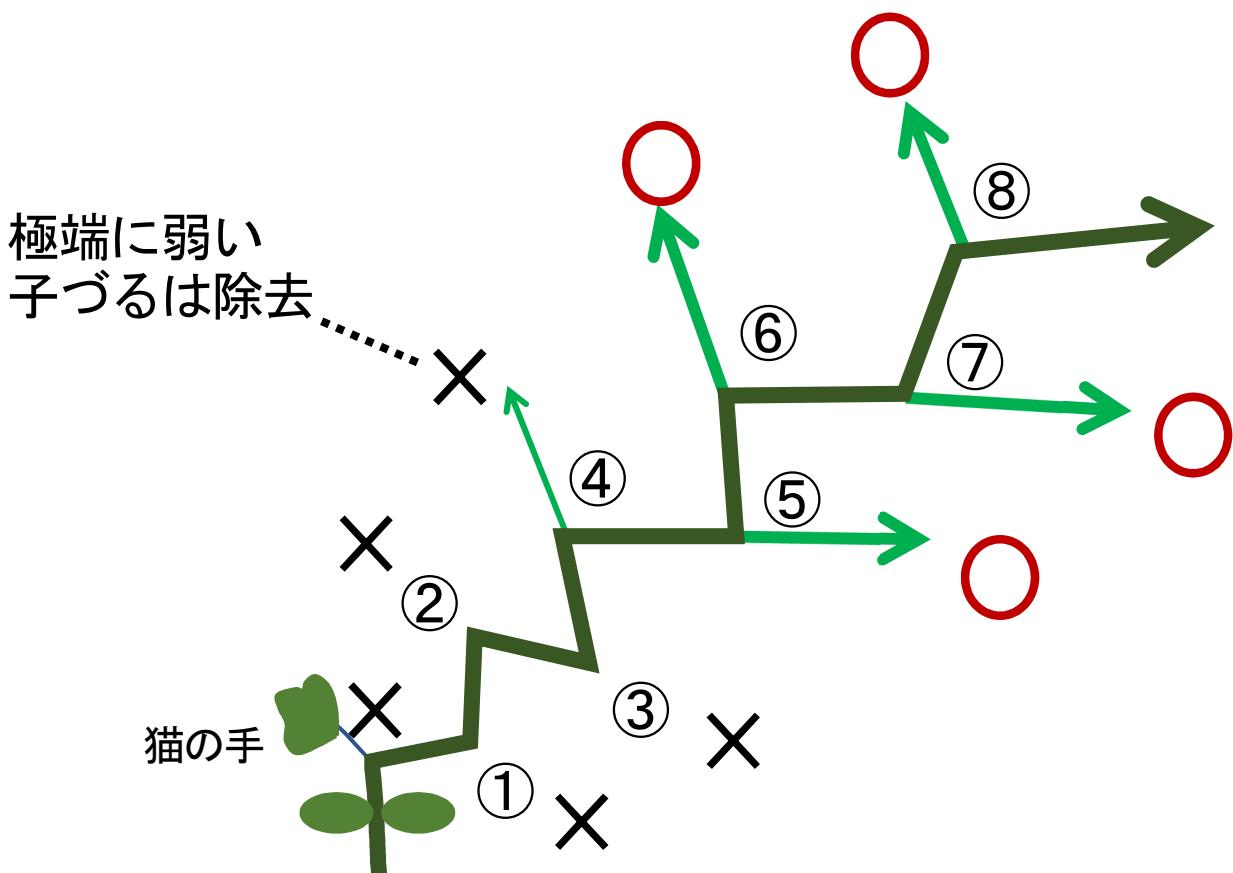


←生育初期は  
このくらいの  
換気幅で OK



## 改良整枝栽培の子づる管理 + 摘芯

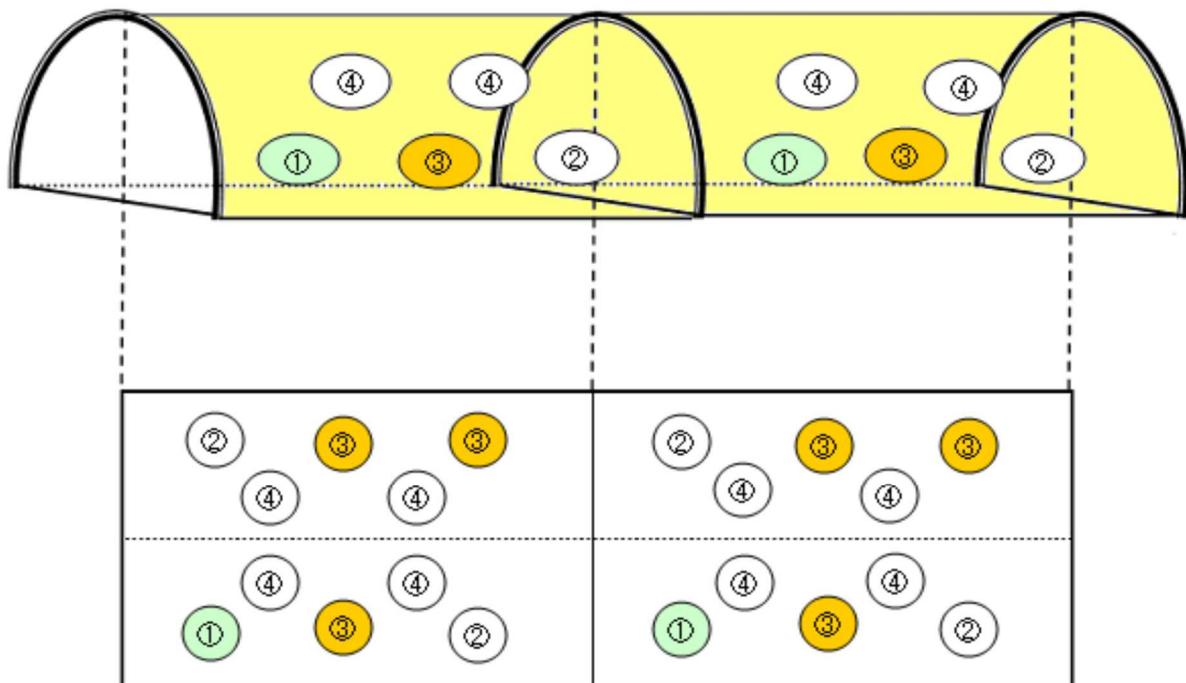
- ・親づる本葉が7~8枚展開した頃、すでに伸びている株元の子づるを除去。  
→その先の子づると親づるの充実をうながす効果があります。作業は遅れずに！
- ・親づる本葉4枚目以降に、生育の揃った子づる4本以上の発生を確認したら、親づるを摘芯。





## 密閉栽培の穴あけ換気

- ・トンネル内が 35°C 以上にならないよう、5~7 日間隔で穴数を増やしていきましょう。
- ・穴あけ作業は、気温の低い早朝に行いましょう。



## 密閉栽培の摘芯 + 株元管理

- ・親づるが 60~70 cm 伸びた頃、本葉 8~10 枚で摘芯。
- ・株元の子葉節から発生しているどぶづる、本葉 1~2 枚目から出ている 2 次側枝を除去。

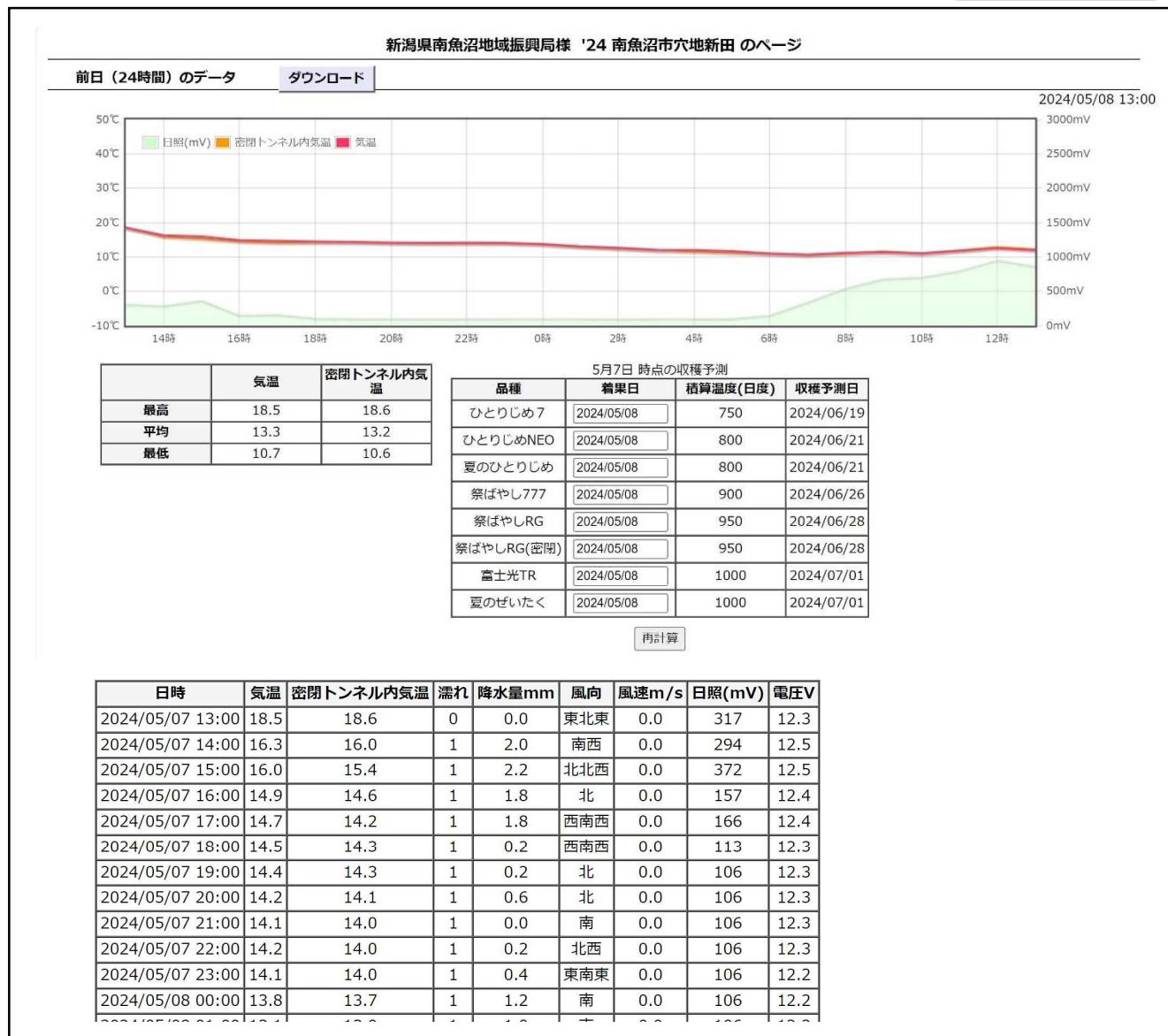


# 【お知らせ】

## ☆気象観測データ配信開始（観測地：八色原）

☞事業者HP上で毎日データ更新中

<http://www.asuzac-pd.jp/crop/Yairosuica/>



## ☆西瓜オンラインシステムの登録を！

- ・定植調査、着果調査等の報告がスマートフォンやパソコンでできます。
- ・登録を希望される方は下記メールアドレスにメールを送信してください。

メールアドレス : entik-4@ja-m-uonuma.or.jp

件名は…「西瓜オンラインシステム」

本文に…「自分の名前」をご記入ください。

- ・メールを確認次第、JA から確認メールを送信し、登録完了後に改めてご連絡いたします。

## ☆この「八色西瓜通信」は、JAみなみ魚沼 営農部のLINEで配信しています。



QRコードを読み取り  
「JA みなみ魚沼営農部」を  
友だち登録

不明な点・指導が必要なときは下記担当まで連絡ください。  
みなみ魚沼農業協同組合 園芸畜産課 関 TEL:777-3180  
南魚沼農業普及指導センター 近藤 TEL:772-3337